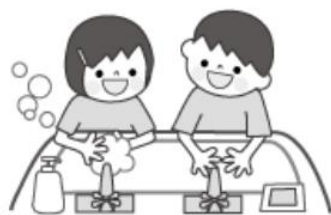


新型コロナウイルス感染症対策

副校長 三村 里弥子

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況が続いていますが、休み時間には校庭で遊ぶ子ども達が増えており、子ども達の笑い声が毎日響いています。

感染症対策には正しい知識を身につけることが大切と考え、学校では様々な活動をしています。そこで、1月に取り組んだ活動を紹介します。



まず、学級では、緊急事態宣言や小学生の感染ルートについて学んでから、小学生が、学校や家庭、それ以外の場所でできることを一緒に考えてみました。子ども達からは、「水が冷たいけど、しっかり手洗いしよう。」「人に近づきすぎないようにしよう。」「家族でもタオルを使い分けよう。」「人が多く集まる場所にはなるべく行かないほうがいい。」などの声があがっていました。「ほけんだより」を持ち帰っていますので、改めて、ご家庭でも話題にされてはいかがでしょうか。

委員会は、健康委員会の児童が、新型コロナウイルス感染症や正しいマスクの着け方・手洗いの仕方について、説明したり、クイズを出したりする健康集会を各教室でひらきました。私が見に行った1年生の教室では、真剣な表情で説明を聞き、クイズを楽しんでいました。2月には、学校保健委員会の児童も、劇やクイズを撮影し、発表する予定です。

今後も感染症対策に努め、安全を第一に活動していきます。メール配信させていただいた昇降口での密を避けるための分散登校や寒さ対策について、ご協力のほどよろしくお願いたします。

今後とも感染症対策に努め、安全を第一に活動していきます。メール配信させていただいた昇降口での密を避けるための分散登校や寒さ対策について、ご協力のほどよろしくお願いたします。

・登校時間について

A グループ【折本町・大熊町・川向町・仲町台3・4丁目（ヴェレーナ以外）方面】

8時5分～15分登校

B グループ【仲町台1・2・5丁目・ヴェレーナ方面】

8時15分～25分登校

「月夜の大霜」ということわざをご存知でしょうか。夜、月が綺麗にくっきり見えるときは、霜がたくさん降りるという意味だそうです。月が輝くほどよく晴れる夜は、地表の熱が奪われ、放射冷却が強まり、冷え込み、霜が多く降るそうです。

最近では、折本小学校の周辺では霜が降りることが多くなりました。それもそのはず、早いもので来週から2月に入ります。2月の行事といえば節分ですが、節分は「立春」の前の日で、今年は124年ぶりに2月2日だそうです。豆まきや恵方巻、柊鰯等の習慣がある節分ですが、夕食の一品になるという理由で、我が家では専ら恵方巻です！！今年の恵方は南南東。美味しく食べて、幸運をよびこみ、無病息災の一年にしたいと思います。

今後ともご支援ご協力をよろしくお願いたします。

